

精神医療アドボケイト養成・派遣・フォロー等の連携体制整備事業

【事業費総額 4,777 千円 (WAM 助成金 4,140 千円)】



電話相談の様子



養成研修の様子

団体設立経緯

国連障害者委員会の勧告を受け、精神科医療におけるアドボケイト（代弁者）制度導入による意思表示の機会の保障は権利擁護の第一歩になると考え、精神疾患経験者・司法・医療・福祉等の専門職が集まり令和4年に法人を設立しました。

事業実施内容

「精神医療アドボケイトに対する整備事業」では、精神医療アドボケイトの養成研修を開き、事務手続き・報告書を作成するなど、バックアップ体制を整えました。

また、精神科病院を対象とした説明会を実施することにより、アドボケイトの重要性を訴え、事業の理解を進めることができました。

「精神科入院者からの電話相談、精神科入院者への訪問事業」では、電話相談を受けた後、希望者に対しては訪問支援を実施し、入院生活におけるさまざまな思いや悩みを受け止めることにより、入院者本人が病院のスタッフへ自身の考えを伝えられるように意思表示支援を行うなど、権利擁護につながる活動を実施しました。

事業成果

精神医療アドボケイトの養成研修では、精神疾患経験者、家族、看護師、精神保健福祉士、弁護士等、さまざまな立場の方が参加し、58 名が名簿登録を

行いました。講義や演習を通して、アドボケイトの理念、精神科医療の現状と課題を学ぶとともに、活動にかかる具体的なイメージを共有することができました。

精神科入院者からの電話相談では、毎週金曜日の開催で、平均 2～3 件の相談があり、延べ 50 件の相談がありました。

また、電話相談を通じて訪問支援の依頼もあり、延べ 23 名への訪問支援を行いました。この支援には、延べ 46 名のアドボケイトが携わり、振り返りの場を設けるなど、助言やフォローを実施しました。

同事業に対する評価

精神科病院の入院者の権利擁護のため意欲的に事業に取り組み、電話相談、訪問支援やアドボケイト養成研修などを実施し、県内のみならず県外にも活動の場を拡げている点を評価しています。

今後、さらに他地域の団体や行政等と連携強化を図り、幅広く活動の広がりがみられることを期待しています。

一般社団法人
おかやま精神医療アドボケイトセンター
(岡山県岡山市)



URL <https://okayama-advocate.org>